

年度末考査 日本史B問題

I、下記の文章を読み、下記の問いに答えよ。

豊臣氏を滅ぼすと、2代将軍徳川秀忠や3代将軍家光は、武力を背景とした強硬な姿勢で大名にのぞんだ。しかし家光が没した直後に発生した【 a 】の乱は、①大名の改易によって大量に生み出されたく A > の存在が社会問題化したことを示した。この事件をきっかけに、②文治政治への移行がすすみ、こうした動きは五代将軍のとき完成した。この時期は、貨幣経済も発展、[1]文化と呼ばれる庶民文化が花開いた。しかし、仏教保護政策や(i)生類憐れみ令などは財政難を深刻化させ、その対策として③貨幣改鑄という手段が講じられた。これにたいし、④六代、七代将軍のもとで政治顧問をした【 b 】はこの時代のゆるみを引き締めようとした。

紀州徳川家から八代将軍となった【 c 】は、儉約令を出して支出を抑える一方、⑤年貢の増徴、さらには(ii)上米の制といった手段にも訴えた。人材登用をはかるため[2]の制を始めたり、大岡忠相を重用しく B > を作って法令を整備させるとともに、[3]の意見に基づき(iii)小石川養生所を設立した。さらに、⑥米価の安定をはかるためにさまざまな手段を講じた。

これにたいし、(iv)商品経済の成果を吸収するという重商主義的な改革を展開したのが【 d 】である。かれは、貿易の拡大をはかるため⑦輸出産業の育成をはかったり、銅・鉄などに[4]制を導入した。しかし、天明の[5]が発生、都市ではく C >、農村では百姓一揆が頻発するなか、批判が集中、失脚した。

かわって筆頭老中として[6]の改革をすすめたのが松平定信である。定信は、飢饉や災害に備えるべく[7]を命じるとともに、荒廃した農村の復興をはかるべく、出稼ぎを制限し、[8]令で出稼ぎ者などを農村へ戻そうとした。(v)棄捐令を出す一方、文化や風俗の統制も強めた

これにつづく文化・文政時代、将軍家斉の元で放漫な政治がつづき、社会が乱れ、飢きんが相次ぎ、農村では百姓一揆、都市では打ちこわしが増えた。さらに外国船が日本近海にあらわれた。これにたいし、19世紀中期、老中水野忠邦が[9]の改革をすすめようとしたが失敗に終わった。他方、[10]藩や長州藩などは同時期に藩政改革に成功、雄藩として幕末の政局における中心となった。

【設問】

<問1>文中の<A>～<C>に入れるべき語を記せ。

<問2>文中の【 a 】～【 d 】に入れるべき人名を下の語群より選べ。

(ア)徳川家斉 (イ)徳川吉宗 (ウ)徳川綱吉 (エ)大塩平八郎 (オ)田沼意次 (カ)新井白石 (キ)由井正雪

<問3>文中の[1]～[10]に入れるべき人名を下の語群より選べ。

(ア)天保 (イ)元禄 (ウ)享保 (エ)薩摩 (オ)加賀 (カ)化政 (キ)専売 (ク)困米 (ケ)足高 (コ)下駄箱
(サ)目安箱 (シ)買い米 (ス)飢饉 (セ)旧里帰農令

<問4>文中の波線部(i)～(v)の言葉や文章の説明文や関連した内容を下から選び、記号でこたえよ。

- (ア)大名にたいし、一万石に百石の割合での米の供出を命じた。
- (イ)困窮する旗本・御家人を救済するために、札差(米商人)に貸し金を放棄させた。
- (ウ)株仲間を積極的に承認し営業税の増加を図ろうとした。
- (エ)犬をはじめとするあらゆる生き物の殺生を禁じ、その保護を図った。
- (オ)増加する無宿人を収容し職業訓練を行うために設けられた施設。
- (カ)朱子学以外の学問を聖堂学問所で講ずることを禁止した。
- (キ)貸借関係に関わる訴訟に関しては当事者同士で解決することとし、こうした訴訟を取り上げないこととした。
- (ク)貧民を対象とする医療施設。

＜問5＞文中の下線部にかかわる以下の設問に答えよ。

- ①改易とは、大名をとりつぶすことである。改易の最大の理由として多く用いられた武家諸法度を解答欄の指示にしたがって記せ。
- ②江戸時代における文治政治について説明した以下の文のうちもっとも正しいものを1つ選べ。
- (ア)武家勢力をおさえ、科挙によって採用された文人官僚を重用した。
- (イ)儒教的な仁の精神にたち、すべての庶民に儒教を教えるべく義務教育制をとった。
- (ウ)政治の中心は農民であるとして、土地の開墾などを奨励した。
- (エ)参勤交代や武家諸法度を強化して、法にもとづく政治をすすめた。
- (オ)武力だけに頼らず、儒教の精神をもとに徳をもっておさめるという政治理念にしたがった政治。
- ③具体的にはどのようなことを行ったのか。空欄に入れるべき語の組み合わせを語群から選び、記号で記せ。

小判などの貨幣に含まれる金の含有量を[A]ことにより、その差額を幕府の収入とする政策。この結果、貨幣の価値が[B]、物価が[C]した。

- (ア)A増やす・B上昇・C下落 (イ)A増やす・B下落・C上昇 (ウ)A増やす・B上昇・C上昇 (エ)A増やす・B上昇・C上昇
(オ)A減らす・B上昇・C下落 (カ)A減らす・B下落・C上昇 (キ)A減らす・B上昇・C上昇 (ク)AA減らす・B上昇・C上昇

- ④この人物がすすめた政治にかかわって記したABの文について、ABとも正しいときは(ア)、Aのみ正しいときは(イ)、Bのみの正しい時は(ウ)、ABとも誤りのときは(エ) を記せよ。

- A、年少の將軍の權威を維持するため、形式や儀礼を重視する傾向が強かった。
- B、長崎貿易による銀などの流出を抑えるため、海舶互市新例をだして、貿易制限を行った。

- ⑤この時期、年貢の徴収方法が大きく変化したといわれる。下の空欄に適語をいれよ。

毎年の作物の出来を見て決める方法から、数年間の収穫高の平均を元に固定する()法に

- ⑥この背景には、米でおさめる年貢徴収と貨幣経済との矛盾があったとされる。この点について説明した以下の文の＜A＞～＜D＞の語の組み合わせを1つ選び記号で答えよ。

幕府や各藩などがその財政危機に対応しようとして、年貢を多く集めれば集めるほど大坂の市場に集まる米の量は＜ A ＞、米の値段は＜ B ＞なる。したがって幕府や各藩が年貢米を多く集めたところで、米の値段が＜ C ＞ため、貨幣は＜ D ＞という矛盾である。

- (ア)A 減り、B 高く、C あがる、D 増加する (イ)A 増え、B 高く、C あがる、D 増えない
(ウ)A 減り、B 安く、C 下がる、D 増加する (エ)A 増え、B 安く、C 下がる、D 増えない
(オ)A 減り、B 高く、C 下がる、D 増えない (カ)A 増え、B 安く、C 上がり、D 増加する

- ⑦どのようなものが輸出されたのか、当時の呼び方、または具体的な品目を記せ。

II、以下の＜A＞＜B＞の空欄[]に入れるべき入れるべき適語を選び、記号で記せ。

《A》[1]とよばれる京都・大坂を中心に、庶民の文化が発展、[2]は浮世草子とよばれる小説で、[3]は歌舞伎や人形浄瑠璃などの演劇で、それぞれ人々の生活を生き生きと描きました。また、『奥の細道』をかいた[4]によって俳句が確立されました。主君の仇を討った赤穂浪士が武士の鑑として賞賛されたのもこの時代です。この事件は後に[5]として、歌舞伎などで人気を博しました。

- (ア)近松門左衛門 (イ)与謝蕪村 (ウ)葛飾北斎 (エ)井原西鶴 (オ)松尾芭蕉 (カ)南総里見八犬伝
(キ)御伽草子 (ク)忠臣蔵 (ケ)太平記 (コ)板東 (サ)上方 (シ)宗祇

《B》江戸時代のはじめには、村役人が幕府や領主に直訴する[6]が多かった。

農民層の分解がすすむにつれ、村役人など有力農民と一般農民の対立がすすむ中、多くの村で村政の民主化や村役人の交代をもとめる[7]が発生、「専売制反対」など政治的要求のもとにすべての村人が他の村とも連合しながら強訴する[8]が増加、天保期になると、全藩一揆や藩を超えた一揆など巨大一揆も発生するようになっていった。

(ア)徳政一揆 (イ)惣百姓一揆 (ウ)代表越訴型一揆 (エ)一向一揆 (オ)村方騒動 (カ)打ちこわし
(キ)小作争議 (ク)世直し一揆 (ケ)ええじゃないか

Ⅲ、下記の文章を読み、下線部について設問に答えなさい。

近世社会は、①身分制を基礎とする社会で、個人よりも②「家」を守ることが重視される社会でした。士農工商のほかにも③多様な身分が存在し、各身分の中にも、さらに細かい身分や存在していました。④戦国時代以前から差別されてきた身分の人たちも、⑤「かわた」「えた」身分などとしてこうした枠組みの中に組み込まれ、「ひにん」身分などとともに、他の身分からも差別されつづけました。

武士と⑥商人や職人(手工業者)はおもに城下町に住んでいました。商人・職人などがすむ地域は、⑦町方とよばれ、全国と領地を結ぶ経済活動の中心でした。

農業が社会の基礎だと考える幕府は、⑧村の責任で年貢をおさめさせました。村は、⑨庄屋(名主)・組頭・百姓代の村役人を中心に、⑩自分の土地をもつ農民が運営し、土地をもたない農民はかかわることができませんでした。幕府は、農民の生活を守るため、⑪土地の売り買いを禁止し、⑫米以外の作物をつくることも制限しました。

<設問>

①(1)身分制にかかわって記したABの文について、ABとも正しいときは(A)、Aのみ正しいときは(イ)、Bのみの正しい時は(ウ)、ABとも誤りのときは(エ) を記せよ。

A、身分とは、仕事、社会的役割、住む場所などによって区分される集団のことである。

B、人々は家や集団ごとに把握され、居住地の移動や身分間の結婚などは制限されていました。

②「家」を守ることにかかわって記したABの文について、ABとも正しいときは(A)、Aのみ正しいときは(イ)、Bのみの正しい時は(ウ)、ABとも誤りのときは(エ) を記せよ。

A、戸主(家長)が「家」の財産や家業を相続しましたが、養子による相続も盛んに行われました。

B、女性の地位は比較的高く、家の財産を分割して相続する権利も持っていました。

③この本文で出てくる身分以外に、どのような身分があったのか、例を一つ記せ。(漢字でもひらがなでも良い)

④戦国以前の「差別された身分」にかかわり記した以下の文について誤りを含むものを一つ指摘せよ。

(ア)病気や災害、飢饉などさまざまな事情で、生まれた土地を去る人々が多く存在した。

(イ)川のほとりや町外れなどに住みつき、下人・所従とよばれた人たちが10世紀頃から生まれてきた。

(ウ)生活のため、さまざまな仕事に従事、芸能や宗教活動から、日本の古典芸能の基礎を作ったとも指摘される。

(エ)清掃などに携わったものも多く、庭を作るなどにも力を発揮した。

⑤主にどのような仕事をしていた人たちが「かわた」身分として位置づけられたのか、その仕事を簡潔に記せ。

⑥都市住民にかかわって、次の問に答えよ

(1)都市で建築物(の一部)を借りていた人を「店借」という。この読み方をひらがな4文字で記せ。

(2)商人の奉公人の3つの類型である (a)丁稚 (b)手代 (c)番頭 の上下関係を、解答欄の指示にしたがい

⑦「町方」にかかわって記したABの文について、ABとも正しいときは(A)、Aのみ正しいときは(イ)、Bのみの正しい時は(ウ)、ABとも誤りのときは(エ) を記せ。

A、城下町の人口の大半を占める「町場」が、城下町の面積の大部分を占めていた。

B、「町」という自治組織があり、「町年寄」「町名主」など町役人を中心に屋敷をもつ町人によって運営された。

⑧このように村の責任で、村ごとに年貢を納めさせる制度を何というか、解答欄にしたがい、漢字二字で記せ。

⑨農民の負担となった税の中心で、田畑・屋敷地にかけられた本年貢の別名を下から選び記号で記せ。

(ア)本途物成 (イ)高掛物 (ウ)助郷役 (エ)租庸調 (オ)小物成

⑩このように、土地と屋敷をもち、検地帳に記載され、年貢の負担をさせられる農民をなんといいですか。漢字三字で記しなさい。

⑪土地の売り買いを禁止した「きまり」の名を記しなさい。

⑫米以外の作物をつくることを制限した「きまり」の名を記しなさい。

IV、文中の〈 〉は自分で考え、[]は語群から選び記号で、それぞれ適語を記せ。また下線部について設問に答えよ。

成立当初、江戸幕府は①貿易を奨励したため、東南アジア各地に日本人町も生まれた。他方、1604年には②系割符制度を始めました。

しかし、③1612(慶長17)年[1]令をだし、キリスト教徒への厳しい弾圧をすすめた。こうした中、キリスト教徒らを中心に過酷な政治に対しておこしたのが、[2]の乱である。この乱は、幕府に鎖国への方向をいっそう強めさせることになった。こうした禁教政策には④仏教もその道具として用いられた。

幕府は、1616(元和2)年には中国船以外の外国船の寄港地を平戸と長崎に限定して以降、次々と貿易や日本人の海外渡航を制限、〈 A 〉年に[3]人の来航を禁止することで、いわゆる〈 B 〉を完成させた。以後、日本は200年余りの間、[4]・中国・⑤朝鮮および⑥琉球王国以外の諸国との交渉を閉ざすことになった。そして、幕府はオランダ商館を長崎の[5]に移し、さらに長崎の町に雑居していた清国人も〈 C 〉屋敷に居住させ、日本人との自由な交流を制限した。

(ア)リーフデ (イ)サンフェリペ (ウ)スペイン (エ)オランダ (オ)ポルトガル (カ)博多 (キ)平戸 (ク)パレン追放 (ケ)禁教

①豊臣政権の時期から江戸初期、政府の許可を得て貿易を行った船を何というか、答えよ。

②系割符制度について説明した以下の文の下線部について、誤りを含むものを一つ選び、記号で記せ。

(ア)ヨーロッパ産の生糸の中継貿易で大きな利益を得ていた(イ)ポルトガルにたいし、江戸幕府は(ウ)系割符仲間と呼ばれる特定の大商人に(エ)その扱いを独占させ、貿易の統制をはかった。このことは、(オ)西国大名が貿易で利益を得ることを防ぎ、幕府が(カ)貿易統制をすすめたことをしめす。

③こうした背景には、ヨーロッパでの国際関係の影響も考えることができる。これにかかわって記したABの文につき、ABとも正しいときは(ア)、Aのみ正しいときは(イ)、Bのみの正しい時は(ウ)、ABとも誤りのときは(エ)を記せ。

A、ヨーロッパでは宗教改革の影響を受けて、ポルトガル・スペインなどのカトリック国と、イギリス・オランダなどのプロテスタント国の激しい争いが続いていた。

B、1600年、リーフデ号で漂着した乗組員のイギリス人とオランダ人が徳川家康の外交顧問として採用された。

④幕府の仏教政策にかかわる以下の文の空欄に適語を入れよ。

人々はいずれかの寺院の檀家として、キリシタンなどでないことを証明してもらった。これを[1]とよび、これを記した[1]帳が当時の戸籍の役割になった。こうした制度を[2]制とよび、旅行・婚姻・奉公などには寺院の証文を必要とした。

⑤朝鮮との貿易を独占したのはどこの大名であったか、藩名(地名でも大名の名でもよい)を記せ。

⑥琉球王国について誤りを含むものを一つ選び、記号で記せ。

(ア)琉球王国は、東アジア・東南アジアを結ぶ中継貿易で発展していた。

(イ)江戸時代を通して、琉球王国は中国との外交関係をもちつづけた。

(ウ)1609(慶長14)年、薩摩の島津氏の攻撃を受けて征服され、その支配下に入った。

(エ)明国との朝貢関係にあったが、清国の成立とともにその朝貢関係は消滅した。

(オ)琉球国王の尚氏は江戸時代を通して国王の地位をもちつづけた。